

大学が主催する
「越境学習型」企業人材育成プログラム

立命館東京キャンパス社会人講座

チェンジ・メイカー育成プログラム（第6期）

2024年9月開講コース 募集開始



「正解のない時代」を突破する 次世代のリーダーを育てる

チェンジ・メイカー育成プログラムは
実際の地域をフィールドに、地域の人々との交流の中から課題を見つけ
多様なチームで解決策を提案する社会課題解決型プログラムです

新しいリーダーを生み出す社会人PBLと越境体験

課題を探る / チームで挑む / ゴールを目指す

リアルな社会課題と向き合う「越境学習」を人材育成に

主催：立命館東京キャンパス

共催：ジャパンラーニング株式会社

協力：群馬県片品村

立命館 東京



詳しくは 立命館 東京 で【検索】

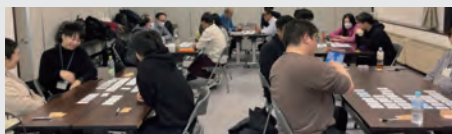


チェンジ・メイカー育成プログラムは、 企業人材を対象にした、社会課題解決型の研修プログラムです

■プログラム3つの特徴

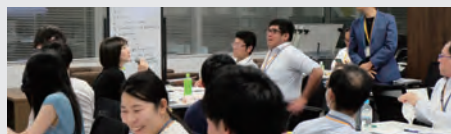
1 越境学習

所属する組織の枠を自発的に「越境」し
自らの職場以外に学びの場を求めること



2 他流試合

業界の異なる企業・組織の社員同士が議論し
問題解決に取り組むこと



3 リフレーミング

既存の枠組みで捉えている物事を枠組みから
外して捉え直すこと



「チェンジ・メイカー」とは、課題の本質を見極め、
様々な分野の個人・組織の力を集めて試行錯誤を繰り返し、状況を変化させられることができる人

Step 01

課題を探る

自治体や地域事業者から提供される基礎資料、立命館教授によるレクチャー、現地フィールドワークなどを通して、**自ら問いを設定し、課題の本質を検証**していきます。

Step 02

チームで挑む

4～5名で1つのチームを作り、課題に取り組んでいきます。取り組む課題の大きなフレームは、事前のアンケートから受講生の背景や意向に沿ってチーム作りを進めます。

Step 03

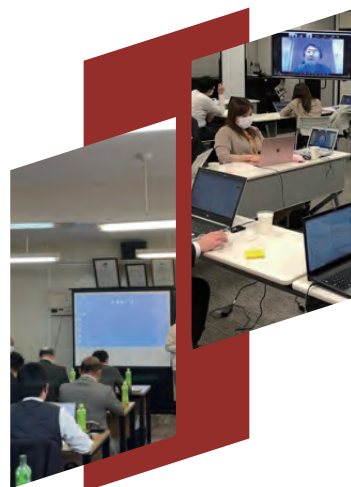
ゴールを目指す

チームで【課題設定→仮説を立てる→解決策検討→実現可能な提案づくり】をサイクルとして繰り返しながら精緻化をはかります。各チームにファシリテーターがつき、セッションの進行と受講生をサポートします。

Step 04

成果報告会と振り返り

各チームが取り組んだ提案内容はプレゼンテーションを行い、現地やプログラム関係者から評価とフィードバックを受けます。事業化に繋がる評価を受けた提案は、プログラム終了後も事務局が伴走サポートしていきます。



EQ 測定、リフレクション、キャリア面談を併用した振り返り

プログラム前後の EQ 測定と、セッション毎の対話型リフレクションで、プログラムを通して一人ひとりの行動変化と成果を可視化します。
希望者には、キャリアコンサルタントによる面談も実施します。

研修のその先へ（一過性で終わらせないため）

プログラム終了後も、運営、修了生、地域側それぞれが使命感を持ち、現場実装に向けた活動に取り組んでいます。

●第4期 群馬県上野村

プログラム後、参加企業が自治体と連携協定を締結。同社社員が上野村へ出向しています。
参加メンバーが中心となり、都内での上野村物産展や生物多様性研修@上野村を開催しました。



●第5期 群馬県嬬恋村

提案アイデアの実現のため、修了生が、村長と役場メンバーを自社施設に招待。
有志による提案内容の実証実験タスクチームが、「嬬恋 Ki-Born Day」開催に向け活動中。



●チェンジ・メイカー・アルムナイ

過去5期82名の修了生のネットワークがあり、同窓会や、業種をこえた交流、連携が行われています。



今回のフィールドは、「尾瀬の郷」群馬県片品村

片品村は、童謡『夏の思い出』でおなじみ、「夏がくれば思い出す、はるかな尾瀬」の玄関口。
日本百名山の名峰(武尊山・日光白根山・至仏山)の山岳景観と、丸沼・菅沼の湖水美に恵まれ、美しい里山風景が広がります。
「観光」と「農業」が基幹産業で、村内には9の温泉郷と5つのスキー場、180軒あまりの宿泊施設があり、
尾瀬の雪解け水を栽培に生かした高原野菜や果物は、片品村農産品ブランドとして親しまれています。

片品村が抱える課題

- 人口減少・少子高齢化
- 観光客・スキー客の減少
- 安定的な雇用機会の不足
- 村内の賑わいや活力の低下
- 片品村自体の知名度・認知度の低さ



群馬県片品村

群馬県の北北東 尾瀬国立公園の麓に位置
東京方面から約180キロ
関東地方唯一の特別豪雪地帯に指定
新潟県・福島県・栃木県に隣接
主な産業: 宿泊業・観光業・飲食業・農業・林業など
人口: 約4,000人



片品村からのメッセージ

片品村は、「尾瀬国立公園」をはじめ、雄大な自然を有し、これまで、その自然の豊かさを背景に、観光業、農業、林業など様々な産業を育んできました。
しかしながら、変化する社会情勢のなか、近年、人口減少・少子高齢化、産業の衰退など様々な課題に直面しています。
昨年、片品村は、その様な課題に、しっかり向き合いながら10年先20年先の村の未来を創る【尾瀬かたしな未来プロジェクト】を立ち上げました。
プロジェクトの基本理念「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」のもと、もっと住みやすく、もっと魅力的な村にするため、地域住民の皆様と協働で、現在取り組みを進めております。
今後、持続可能な地域を創り上げるためにも、本プログラムご参加の皆様の視点や角度から多様なアイデアと積極的な参画を期待しています。



村長 梅澤 志洋

前回参加者の声 (2023年10月~12月 / 群馬県嬬恋村)

社外のメンバーや地域の方と一つのものを作り上げるプロセスが本当に有意義でした。多くの村民の方と交流し、本音のフィードバックを頂ける、村との密な協働がこのプログラムの最大の魅力だと感じました。(コンサルティング・女性)

常に自社業務とこの活動を対比していました。業種が違えば、物事の捉え方や取り組み方も全く違っていて、自業務に生かせるたくさんの学びがありました。(製造・男性)

回を重ねるごとに自身の変化を感じたプログラムでした。本業でもチームリーダーを任されるようになり、議論やプロジェクトの進め方などを取り入れました。このタイミングで参加することができて本当に良かったです。(情報通信・男性)

コミュニケーションが得意ではなく、いままでは仕事で何かを感じても黙っていることが多かったのですが、このプログラムではメンバーやファシリテーターが受け止めてくれて、自分でも驚くほどアウトプットすることができました(建設・男性)

大学主催のプログラムだからこそ、自治体や村民の方が信頼して何でも話してくださる雰囲気が作られていると感じました。また、大学教授のアカデミックな観点の講義を伺えるのも非常に魅力的でした。(金融・男性)



プログラム概要

●日程 2024年9月～11月(全9回)

授業スケジュール	日 程	開催場所	概 要	
セッション0	複数日程	ZOOM	【事前ガイダンス】	プログラム概要説明
セッション1	9/27(金)午後	立命館東京	【キックオフ】	①開講式 ②基礎講座 ③チームビルディング
セッション2	10/3(木)	ZOOM	【課題理解と発見】	①課題を深めるミニ講座 ②チーム活動
セッション3	10/11(金)-12(土)	片品村	【現地フィールドワーク】	①片品村見学 ②現地関係者との対話会
セッション4	10/17(木)	ZOOM	【課題整理と検討】	①FW 成果共有 ②チーム活動
セッション5	10/24(木)	ZOOM	【解決策検証】	①現地事業者との対話 ②チーム活動
セッション6	10/31(木)	ZOOM	【ブレ発表】	①ブレ発表 ②意見交換 ③チーム活動
セッション7	11/7(木)	ZOOM	【検討と修正】	①チーム進捗報告 ②チーム活動
セッション8	11/15(金)	片品村	【現地成果報告会】	①最終プレゼンテーション ②提案先との対話会
セッション9	11/21(木)	ZOOM	【ポストセッション】	①グループリフレクション ②総評/クロージング

※セッション1(立命館東京キャンパス)、セッション3、8(片品村)は対面実施。
※その他の夜間セッション(19:00-21:30)は遠隔(ZOOM)開催。各セッションの概要は変更になる可能性があります。

●募集定員

・25名

●受講料

・1名につき231,000円(税込)

※FW時の宿泊費と現地移動交通費を含みます

(現地最寄のJR上毛高原駅までの移動費は別途負担)

一つの企業様からの参加申込は最大4名でお願いいたします

●申込締切

1次締切:2024年7月31日 / 最終締切:8月31日
(定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます)

●申し込み方法

別紙の「受講申込書」を利用してください。

メールまたはFAXにて、受講申込書をお送りください。

立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局 宛

メール【tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp】

FAX【03-5224-8189】

※受講申込書の項目をメール本文中にご記載の上お送り頂いても結構です。

※受講申込書を受信後、事務局から詳細についてご連絡いたします。

●ご参加頂きたい方

- ・次期ビジネスリーダー候補人材
- ・新規事業開発に取り組んでいる、あるいは取り組みたい方
- ・DXやSDGs事業に取り組んでいる、あるいは取り組みたい方
- ・自分自身や日常業務に変革を生み出したい方
- ・地域との繋がりや新しい価値観を取り入れたい方 など

●問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー8階
立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局
メール : tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp
TEL : 03-5224-8188 (月曜日～金曜日 9:00～17:30)



受講にあたってのQ&A

Q1 このプログラムで身につくスキルや能力は何ですか。

A 職場や社会で「チェンジ・メイカー」として活躍できる能力を育成します。
未知の課題に対して、深く考え抜く力、コミュニケーション力、具体的なアウトプット力など、これらは今の時代に必要な課題の本質を見極めるスキルでもあります。

Q2 このプログラムは単位となる大学の正課の授業ですか。

A 社会人リカレント教育の特別プログラムとして開講しますので、大学の単位認定外の課外プログラムです。但し、すべての課題等を提出された方には大学から「プログラム修了証」を発行します。

Q3 授業スケジュールにあるセッション以外での学習時間はどれくらいありますか。

A 個人での講義(オンデマンド)受講、リサーチ活動、グループでの打合せなど、学びの時間が必要です。いずれも日常の仕事に影響のない範囲で取り組んでいただけだと思います。

Q4「PBL」で取り組むテーマは指定されるのでしょうか。

A 大きなフレームで社会課題となるテーマを事前に提示します。受講者はテーマを選択することができるようにする予定です。1つのテーマで4～5名でチームをつくります。

Q5 講座の内容や受講生の写真などはHPやSNS等に公開されますか。

A 個人情報については「学校法人立命館 個人情報保護基本方針」に基づき適正に管理します。受講風景などの写真は受講生の許可を得てHPやSNSで発信する予定です。

Q6 首都圏以外の遠隔地からの受講も可能ですか。

A セッション1(開講日)、セッション3(フィールドワーク)、セッション8(成果報告会)は対面での参加が必須です。その他のセッション(平日夜間)は遠隔地からのオンライン参加も可能です。

Q7 受講開始までに準備するものはありますか。

A カメラ付きPCとインターネット回線は各自でご準備ください。また、メッセージプラットフォームの「Slack」を使いますので慣れておくと安心です。必須のテキストや教材はありませんが受講開始日までに必要な情報(参考文献や資料)を提示します。

Q8 EQ測定やキャリア面談には別途費用はかかりますか。

A EQテストとキャリア面談の費用は受講料に含まれます。
なお、EQテストはWEB回答、キャリア面談は遠隔(ZOOM)で実施予定です。

Q9 プログラム途中でキャンセルした場合はどうなりますか。

A 受講開始後の途中キャンセルについては返金の対象とはなりません。プログラムの進行上何か不安な点などありましたら事務局にご相談ください。

Q10 ひとつの企業・団体から複数名の申し込みはできますか。

A 2名から最大4名様まで申し込み可能です。